

# 調査鑑識

予防部予防課

公益社団法人  
日本火災学会主催  
の「平成30年度日本  
火災学会研究発表  
会」において、今年  
度、大阪市消防局が  
応募した研究の内  
容をポスターセッ  
ションで発表した  
ので、紹介する。



今回のテーマ

## 平成30年度日本火災学会研究発表会について

### 公益社団法人 日本火災学会

公益社団法人 日本火災学会  
(以下、日本火災学会とする)と  
は、火災に関する科学および技術  
の研究の促進および交流をはか  
り、もって学術・技術の発展と社  
会の福祉に寄与することを目的  
として以下の業務を行っており、  
大阪市消防局も正会員である。

- 研究発表会・研究会の開催
- 講演会・講習会・懇談会の開催
- 会誌、論文集および図書刊行
- 火災に関する研究および調査
- 研究の奨励および助成
- 研究者の育成および表彰
- 国内外の他学会、その他機関との  
連絡協力

### 火災学会研究発表会

○その他目的を達成するため必  
要な事業

日本火災学会が、火災に関わ  
る幅広い分野にわたる研究成果  
を発表・討論する場として、毎  
年、火災学会研究発表会を開催  
している。発表形式には、通常  
(口頭)発表、ポスター発表、オ  
ーガナイズドセッション発表があ  
る。多くの学会員が集まるこの  
機会を捉え、学術・技術に関する  
議論を深め、会員相互の交流を  
促進することを目的として通常  
の講演発表に加え、ポスター  
セッションを開催している。今  
回、当局が応募した研究が、ポ  
スターセッションでの発表となっ

たので、内容を紹介します。

#### 【開催日】

平成30年5月29日(火)  
5月30日(水)

#### 【開催場所】

福岡県北九州市小倉北区  
浅野3丁目8番1号  
北九州国際会議場

#### 【発表者】

平成30年度日本火災学会研究  
発表会  
ポスターセッション

予防課(調査鑑識)

消防司令補 村上 芳郎

#### 【テーマ】

リチウムイオン二次電池の  
低・高エネルギー状態での燃焼  
実験結果について

#### 【要旨】

大阪市内で発生したリチウム  
イオン二次電池起因の火災事案  
から実験を通して、低エネル  
ギー状態と高エネルギー状態の  
リチウムイオン二次電池が焼損  
した場合にある一定の違いを発  
見することができた。これらの  
経過と実験の内容を紹介し、そ  
の結果を原因究明へと繋げるこ  
とを一枚のポスターとしてまと

めたものである。

#### 【効果】

実験と考察を通じて、リチウ  
ムイオン二次電池が内部短絡に  
より出火した場合は、電極に使  
用されている銅箔に部分的な焼  
失が見られるが、一方で外部か  
ら受熱した場合は銅箔に影響は  
見られない事が分かった。

このことから、出火箇所付近  
にリチウムイオン二次電池を装  
着した電気製品が存在した場合  
の出火原因の判定に大きく寄与  
するものと考ええる。

### おわりに

今回紹介した「平成30年度日本  
火災学会研究発表会」の募集及  
び発表は、火災に関わる幅広い  
分野にわたる研究成果を発表・  
討論する場としてかつ活用でき  
る様、毎年、日本火災学会が開催  
している。今後も、全国の場合当  
局の研究結果等が発表でき、他  
の会員及び有識者等と学術・技  
術に関する議論を深めるように  
各消防署からの積極的な応募も  
期待する。

(文責 山口)